平成 25 年 3 月 29 日

各　位

会 社 名　株式会社　岩 手 銀 行
代表者名　取締役頭取　高 橋 真 裕
（コード番号 8345 東証第一部）
問合せ先　執行役員総合企画部長 三 浦 茂 樹
（ＴＥＬ０１９－６２３－１１１１）

新長期ビジョンならびに新中期経営計画の策定について

株式会社岩手銀行（頭取　高橋真裕）は、これからの１０年間における当行の取り組み姿勢を表す新長期ビジョンならびに、平成２５年４月から平成２８年３月までの３年間を計画期間とする新中期経営計画を策定しました。ついては、その概要についてお知らせします。

記

１．新長期ビジョンの概要

長期ビジョン　～　これからの１０年間における当行の取り組み姿勢
「地域の牽引役として圧倒的な存在感を示すとともに、
トップクオリティバンクとしての地位を確立する」

現在の長期ビジョンは平成１８年４月に策定し、おおよそ１０年後の当行の目指す姿を示しているものですが、震災を機に環境が激変していることから、環境の変化に対応した新たな長期ビジョンを策定しました。

新長期ビジョンは、これまで当行が地域経済に果たしてきた役割をさらに進化させ、地域における当行の地位を強固なものとすることをイメージしています。なお、クオリティとは、接遇力や顧客満足度などの当行のソフト面と捉え、ソフト面の充実・強化を図ることでナンバーワンを目指すことをイメージしています。

２．新中期経営計画（以下、新中計）の位置付け

新中計は、長期ビジョン達成に向けた第１ステージと位置付けます。

岩手県経済の復旧・復興は、当行最大の使命であるとの考えのもと、「復興」を基本軸とした活動を展開していきます。また、少子高齢化・人口減少によるマーケット縮小は避けられないなか、地域経済を牽引する可能性を持った新たな産業を育成する期間として位置付け、地域経済の豊かな未来づくりのために様々な施策に取り組んでいきます。

３．新中計の概要

（１）テーマ

「地域の復興を支え、豊かな未来を創造する」

復興支援を強力に推進するとともに、次世代を支える産業を育成し、地域経済の発展に主体的に関与していく姿勢を示しています。

（２）計画期間

平成２５年４月～平成２８年３月（３カ年）

（３）名　称

「いわぎんフロンティアプラン　～復興と創造、豊かな未来へ～　」

テーマに掲げた「未来を創造する」と併せ、未来を切り拓くという意味を込めた名称です。

（４）基本方針

テーマの実現に向けて、次の３項目を基本方針としました。

なお、基本方針２「収益力強化に向けた組織と収益構造の改革」では、推進項目を「収益構造の改革」「ＢＰＲへの取り組み」「リスクマネジメントの強化」の３つのカテゴリーに区分し、それぞれの項目に沿った推進項目を設定しています。

基本方針１　　地域社会活性化への積極的な貢献

○地域経済の復旧･復興は地域のリーディングバンクとしての当行の責任であるとともに当行最大の使命との認識のもと、復興需要への対応・産業復興支援・インフラ整備支援などに積極的に取り組みます。

○復興後の地域経済の維持・発展、地域産業の育成に向け、当行が持つリレーションシップバンキング機能を充分に発揮するとともに、自治体等との連携を強化することにより、主体的に地域経済を牽引していきます。

＜主な重点推進項目＞

・震災復興支援の取り組み

　復興需要への積極的な対応、復興を牽引する産業（ＰＦＩ・ＰＰＰ）への積極的な支援など

・地域経済活性化に向けた取り組み

　成長産業育成支援（アグリビジネス、再生可能エネルギー）など

・起業・創業支援の取り組み

基本方針２　　収益力強化に向けた組織と収益構造の改革

○収益環境がより厳しさを増す中、これまで築きあげてきた「しなやかで筋肉質な体質」をより強靭なものとし、安定した収益を確保していくために、収益構造の改革を推進します。

○ＢＰＲを推進し既存業務の大胆なスリム化に取り組むことにより、効率的かつ、より強固な経営基盤を作りあげるとともに、リスク管理部門を一元化しリスク管理手法を高度化することなどにより、リスク管理態勢の一層の高度化に取り組みます。

＜主な重点推進項目＞

Ⅰ．収益構造の改革

・現場力強化による中小企業向け貸出の増強

・セグメント戦略高度化によるリテール営業戦略の強化　など

Ⅱ．ＢＰＲへの取り組み

・ＢＰＲの推進

　簿書の本部集中保管、経費支払事務の本部集中化　など

Ⅲ．リスクマネジメントの強化

・リスク管理態勢の高度化

　リスクカテゴリー別資本管理の導入　など

基本方針３　　ＣＳ活動の強化と人材の育成

○窓口応対・コンサルティングスキルの向上に取り組むことにより、お客さまが当行全ての窓口において均一で最高レベルの接遇を受けることが出来る銀行を目指します。
○各種研修の見直しや行外研修への積極的な派遣を行うことにより、施策を実現するために必要な人材を育成します。また、若手行員の育成強化や女性行員の登用を拡大することにより、組織の活性化を図ります。
＜主な重点推進項目＞
・ＣＳ向上に向けた取り組み
・ダイバーシティ・マネジメントの実践
・コンプライアンス体制の機能強化

（５）計数目標

以下の項目を主要計数目標として掲げ、この達成を目指して推進していきます。

指標および計数	２７年度（最終年度）目標
中小企業向け貸出金残高	５，０５０億円以上
成長産業向け貸出金実行額（計画期間累計）※	５００億円以上
預り資産販売額	７５０億円以上
コア業務純益	１００億円以上
当期純利益	５０億円以上
自己資本比率	１３％台

※再生可能エネルギー、医療・介護、アグリビジネス、ＰＦＩ・ＰＰＰの貸出実行額（ファンドを含む）を合計したものです。

以　　上

新長期ビジョン　～これからの10年間における、岩手銀行の新たな取り組み姿勢～

地域の牽引役として圧倒的な存在感を示すとともに、トップクオリティバンクとしての地位を確立する

Hop　第1ステージ　地域とともに力強い復興を

Step　第2ステージ　復興から次のステップへ

Jump　第3ステージ　さらなる飛躍へ

中期経営計画

「いわぎんフロンティアプラン　～復興と創造、豊かな未来へ～」

（平成25年4月～平成28年3月）

当行を取り巻く経営環境

外部環境
- ・復興の本格化
- ・産業構造の変化
  （沿岸部なりわい再生、 再生可能エネルギー産業、自動車産業）
- ・少子高齢化、都市部への人口流出
- ・消費税増税、金融円滑化法終了
- ・不安定な金融市場

内部環境
- ・利回りの低下（貸出金、有価証券）
- ・企業支援ノウハウの蓄積（ものづくり関連、「復興再生支援チーム」）
- ・コスト意識の高まり
- ・厚い自己資本
- ・人材育成強化
- ・女性登用の拡大

テーマ

地域の復興を支え、豊かな未来を創造する

3つの基本方針

1．地域社会活性化への積極的な貢献
- ・震災復興支援への取組み
- ・地域経済活性化に向けた取組み
- ・起業・創業支援への取組み

2．収益力強化に向けた組織と収益構造の改革
- ・現場力強化による中小企業向け貸出の増強
- ・セグメント戦略高度化によるリテール営業の強化
- ・BPRの推進
- ・リスク管理態勢の高度化

3．CS活動の強化と人材の育成
- ・CS向上に向けた取組み
- ・ダイバーシティ・マネジメントの実践

主要計数目標（最終年度）

□中小企業向け貸出金残高　5，050億円以上
□成長産業向け貸出金実行額（計画期間累計）　500億円以上
□預り資産販売額　750億円以上
□コア業務純益　100億円以上
□当期純利益　50億円以上
□自己資本比率　13%台